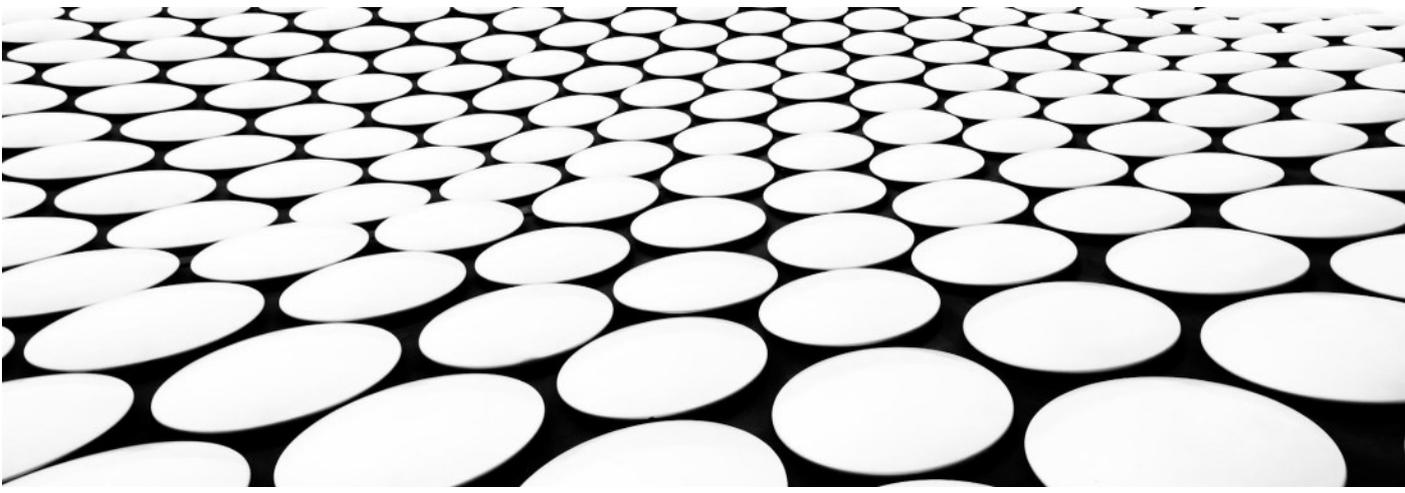


COUNTER

リリース 5.1

COUNTERに準拠
するには

フレンドリーガイド



この冊子は、COUNTERリリース5.1実務指針をわかりやすく説明した「フレンドリーガイド」シリーズの一部です

このシリーズは、以下の冊子から成り立っています。

- COUNTERレポートの紹介
- COUNTERメトリックの紹介
- COUNTERのAttributes, Elements, そのほかの用語について
- COUNTERとオープンアクセス
- COUNTERに準拠するには
- コンソーシアム（団体）向けのCOUNTER
- リリース5.1変更点

このシリーズは、わかりやすい日本語で書かれています。COUNTER実務指針の中の文字列は、正確にはアンダースコアを用いてつながれて表記されます。たとえば、Data Typeは正確にはData_Type、Total Item Investigationsは正式にはTotal_Item_Investigationsと表記されますので、ご注意ください。

技術仕様に関する詳しい情報は、実務指針（<https://cop5.projectcounter.org/en/5.1>）にありますので、特にリターンコード、ダブルクリックフィルタリング、またはJSONスキーマに関する情報をお探しの場合は、そちらをご覧ください。

この冊子で説明されるもの

COUNTER会員制度.....	3
COUNTERレポートの始め方.....	3
利用状況の把握は簡単ではない.....	3
COUNTERレポートの配布.....	4
ホストタイプ.....	5
準拠を証明するために.....	6
COUNTER Validation Tool（COUNTER検証ツール）を使う.....	6
監査を受ける.....	6
顧客に伝える.....	7

COUNTER会員制度

COUNTERは、会員費とスポンサーによって資金を調達している非営利の会員組織です。COUNTERの実務指針や教材を利用するため会員である必要はありませんが、ぜひ会員としてCOUNTERへ参加することをご一考くださいませ。

出版社、会社、図書館からなる会員がCOUNTERを牽引しています。監督役の理事会は財務に関する事項を監督し、執行委員会を任命して運営を監督します。また、日々の業務はプロジェクトディレクターが担当しています。私たちは、理事会や執行委員会、その他のワーキンググループにおいて、コミュニティの皆様がきちんと代表されるような状態であることを常に心がけております。

COUNTER レポートの始め方

COUNTER レポートの技術仕様に関する詳しい情報は、実務指針にてご覧いただけます (cop5.projectcounter.org/en/5.1)。このガイドは要約のみを提供しており、開発ツールとしては使用しないでください。

利用状況の把握は簡単ではない

ユーザーの利用状況を知るためにはいくつか方法があります。例えばページ・タギング、クッキーの利用、ログファイルの解析など。すべて有効であり、どれがどれよりいいということはありません。

ただこのように様々な方法があるということは、出版社のプラットフォームによって利用状況の把握の仕方がそれぞれ違ってくるということです。なのでこれが一番といったデータのクリーニング方法をここで解説することは不可能なのですが、できる範囲で解説させていただきたいと思います。

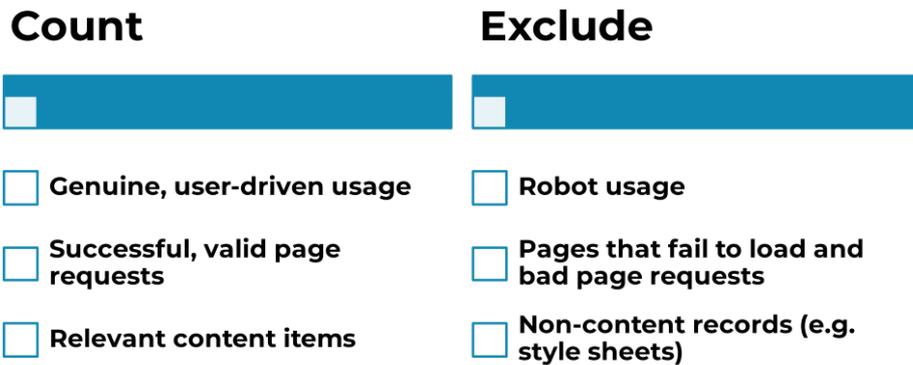


Figure 1. What to count and what to exclude when tracking usage.

COUNTER レポートの配布

COUNTERレポートおよびCOUNTERレポートのスタンダードビューは、機械可読なJSONスキーマで配布され、SUSHIプロトコルを介してダウンロード可能であり、表形式（たとえばExcelスプレッドシート）で利用可能でなければなりません。

ここで覚えておくべき重要な点は以下となります。

- レポートは毎月提供する必要があり、データは報告期間終了後4週間以内に更新する必要があります（つまり、3月のデータは4月28日までに提供する必要があります）。
- 現在の年から2年前までのレポートを提供する必要があります（今2025年3月とすれば、2025年1月から3月分と、2023, 2024年分すべて）。これはYTD-plus-twoとも呼ばれます。
- 特定の月のレポートの要求に応じられる必要があります。ただ、図書館員が月を特定しなかった場合はデフォルトでYTD-plus-twoのデータを提供する必要があります。
- 利用統計はブラウザに依存してはならず、出版社はGoogle Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefoxの最新バージョンをサポートすることを願っています。

通常の場合、出版社は顧客IDごとにCOUNTERレポートを提供しなければなりません。たとえば、ある大学のビジネススクールがその本校とは別の顧客IDを持ち、その使用状況も区別できる場合（ビジネススクールと本校で別々のIP範囲を使用しているなど）、ビジネススクールと本校に対し、出版社はそれぞれ個別のCOUNTERレポートを送信する必要があります。ただ、この顧客ごとのルールには2つの例外があります。第一として、オープンアクセスのレポート（「COUNTERとオープンア

クセス」の冊子を参照)、第二としては、コンソーシアムのレポート(「コンソーシアム(団体)向けのCOUNTER」の冊子を参照)です。

ホストタイプ

ほかの冊子にも説明されているように、リリース5.1には4つのCOUNTERレポートが含まれています。度のレポートを提供する必要があるのかは、データタイプによって決まります。ホストタイプについて詳しく知りたい場合は、「COUNTERのAttributes, Elements, そのほかの用語について」の冊子を参照してください。以下は、各レポートを提供する必要があるホストタイプの早見表です。

このテーブルにはリストされていませんが、すべてのホストタイプは、オープンアクセスコンテンツの使用状況を強調するためにグローバルアイテムレポートを提供することが推奨されています。これについては、「COUNTERとオープンアクセスのフレンドリーガイド」で詳細を読むことができます。

カウンタレポート	スタンダード・ビュー	ホストタイプ
プラットフォームレポート	PR_P1	All Host Types
データベースレポート	DR_D1 と DR_D2	A&I Database Aggregated Full Content Discovery Service eBook Collection Full Content Database Multimedia Collection
タイトルレポート	すべて	Aggregated Full Content
	TR_B1, TR_B2 と TR_B3	eBook eBook Collection
	TR_J1, TR_J2, TR_J3 と TR_J4	eJournal
アイテムレポート	None	Data Repository
	IR_A1	Repository Scholarly Communication Network Aggregated Full Content* eBook* eJournal*

準拠を証明するために

COUNTER Validation Tool（COUNTER検証ツール）を使う

出版社様におすすめているのが、自社作成のCOUNTERレポートを図書館向けに提供する前に、レポートが本当に正しく作成されたのかを確認するためにCOUNTER Validation Tool（COUNTER検証ツール）で検証を行うことです。（<https://projectcounter.org/validation-tool-preview>）一度検証を行った後は、ヘルスチェックとして3～6ヶ月ごとに再検証を行うことをお勧めします。

監査を受ける

COUNTER準拠の出版社やレポート作成者とは、独立した監査を受けて見事合格された方々です。COUNTER準拠の監査に合格した出版社やレポート作成者はCOUNTERのレジストリ (registry.projectcounter.org/) に掲載されます。

監査は時間のかかるもので、最低3ヶ月はかかります。監査は、以下の説明のあるステージ2の開始から12ヶ月間有効です。

ステージ1：準備段階。レポートをCOUNTER検証ツールで検証し、できれば掲載されている図書館グループからフィードバックを求め、レポートに問題がないか確認してください。問題が発見された場合は、ステージ2に進む前に修正する必要があります。

ステージ2：監査の開始。監査人と監査の範囲について合意し（最低限、ホストタイプに基づいて提供する必要のあるレポートについての合意が必要ですが、提供するすべてのレポートについて合意することが望ましい）、準備段階で作成した文書を監査人に送付する必要があります。

ステージ3：監査の開始。利用状況のレポートのため、監査人は出版社のプラットフォームを実際に試験使用してみます。

ステージ4：レポートの調整。このステージでは、前回ステージ3で行った監査人側の試験使用と、御社側で作成されたレポートの内容がマッチするかの確認作業が行われます。結果に従い監査人は中間報告または合格報告を発行します。中間報告の場合、監査で表面化した問題を修正するため、出版社には3ヶ月の期限が与えられます。

ステージ5：監査完了。合格報告が発行されると、COUNTERのレジストリが更新され、監査に合格した出版社の情報が新しく掲載されます。



COUNTERの正式な監査人はABC（abc.org.uk）、BPA Worldwide（bpaww.com）、およびDEKRA（dekra.com）となります。また、実務指針の付録Eのフォームを使用して監査報告書を提出することができるなら、英国公認会計士（Chartered Accountant）、米国公認会計士（Certified Public Accountant）、また

はそれに準ずる他の国の公認会計士が監査人となることも可能です。

顧客に伝える

出版社から取得したレポートがCOUNTERに準拠した正式なレポートなのか、それとも準拠していないCOUNTERまがいのレポートなのか、よくわからないと、図書館員の方々からたくさんの疑問の声が寄せられています。リリース5.1では、この疑問を払しょくするため、出版社様には、COUNTER Registryの自社のページへのリンクを顧客にわかりやすい形で掲載するようにお願いしております。そうすることによって、顧客の図書館員はこのリンク先で、この出版社の提供するCOUNTER準拠のレポートについてより詳細を学ぶことができます。これについてもっと知りたい方は、registry.projectcounter.orgをご覧ください。

引っ越した場合、どうなるの？

新しいレポートサービスに移行をお考えの場合（たとえば、プラットフォーム間のお引越、あるいは最新のCOUNTER実務指針に合わせるためにアップグレードするつもりなど）、その年の移行の日までと、過去2年分の利用データを提供する必要があります。

移行後、新たに利用データを再計算して提供する必要はありません。ただ、古いレポートが顧客にとって簡単にアクセス可能であるようにする必要があります。

移行後、データを必ずしも1つのレポートで提供する必要はなく、分割しても構いません。例えば、2025年2月に新しい出版プラットフォームに移行し、2025年4月に顧客がタイトルレポートをリクエストした場合、2025年2月から2025年4月までの

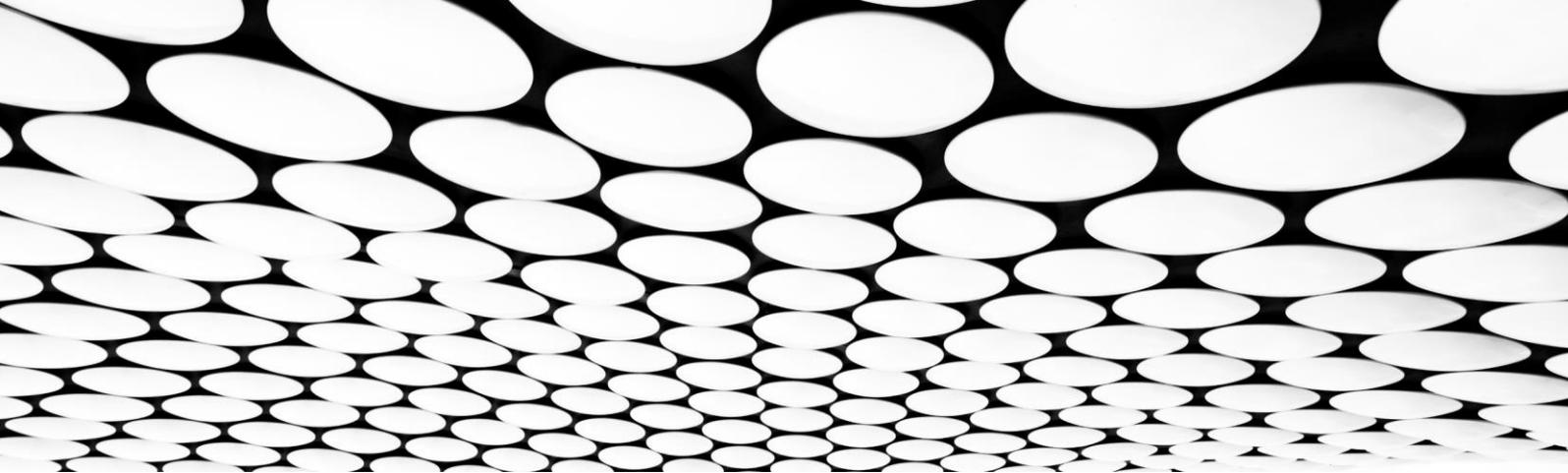
タイトルレポート1つと、あとは2023年、2024年、および2025年1月のタイトルレポートを1つとして、別々に提供することができます。

移行のタイミングについては、可能な限り、COUNTERのリリース間、またプラットフォーム間の移行は月の最初の日に行っていただければ幸いです。

より詳しい情報について

より詳しい情報については、Code of Practice (<https://cop5.projectcounter.org/en/5.1>) とCOUNTER Media Library (medialibrary.projectcounter.org) をご覧ください。

答えがどこにも見当たらないご質問がある場合は、当社のプロジェクト・ディレクターの下記のメールアドレスにご一報ください。
tasha.mellins-cohen@counterusage.org



COUNTER

Thanks to our generous sponsors,
Friendly Guides will soon be available in...

Chinese

Sponsored by SpringerNature

SPRINGER NATURE

German

Sponsored by Thieme

 **Thieme**

Spanish

Sponsored by Gale

 **GALE**

French

Translated by the Couperin Consortium and
the Canadian Research Knowledge Network

Japanese

Translated by Yuimi Hlasten, Denison College

